ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

外壁用

水性シリコン系多彩模様塗料

水性ペリアート®UV

水性 Periart UV

paint for exterior art
multi-color aqueous coating

NIPPON PAINT CO.,LTD.
Basic & New

大切な住まいの美しさを さらに長持ちさせるために。

□高耐候性

表層のシリコン系クリヤーにより、
美しい意匠を長く持続させる
ことができます。

□高意匠性

単一色でなく、様々な複合色が創り出す自然本来の優しい彩りが、
住まいの外壁に深い味わいをかもしだします。

□防藻・防かび性

防藻・防かび性があり、外部からの藻類やかび類を塗膜で抑制します。

□微弾性機能

専用の下塗りとセットにすることで微弾性のある塗膜となり、
旧微弾性塗膜に追従することができます。

□完全水系

環境にやさしい水性システムです。

□低汚染性

雨水といっしょに汚れが落ちやすく、汚れが目立ちにくい構造です。

■荷 姿　※下塗りは、上塗りと同じ番手を必ずご使用ください。

塗料名	容 量	色相数
水性ペリアートUV下塗	3kg・15kg	16色※
水性ペリアートUV上塗(S)	3kg・16kg	16色

《適用下地》（住宅外壁塗り替え改修用）

- 窯業系サイディングボード
- モルタル面
- コンクリート面
- ALCパネル面

各種旧塗膜の上
（高弾性タイプ除く）

外壁 Concept

を塗り替える―
まずは、どんな風に
暮らしたいですか？

「暮らし」のスタイルは多彩です。
趣味や好きなテイストから、自分らしい暮らし方を見つめ直してみましょう。
日々の生活をさらに快適にするチャンスです。
心地いいと感じる自分の好きなカテゴリーを見つけ出し、その雰囲気からスタイルを探り出してみましょう。
ご自分の空間調和を保つのはもちろん、周りの環境にも目を向けてデザインしてみましょう。
あなたの住む街が、より一層豊かで輝きを増すことでしょう。

Soft

日溜まりに包まれるような優しい空間
飾らないシンプルなスタイル

Classic

温故知新の住まいを繋ぐ空間
重厚感のあるスタイル

華やかさをバランスよく装う空間
優雅で上品なスタイル

Dress

瑞々しい感性のスタイリッシュな空間
無駄のないスマートなスタイル

Mono

※このカタログに使用されている写真はイメージです。実際の色とは異なりますのでご了承ください。

Color Variation

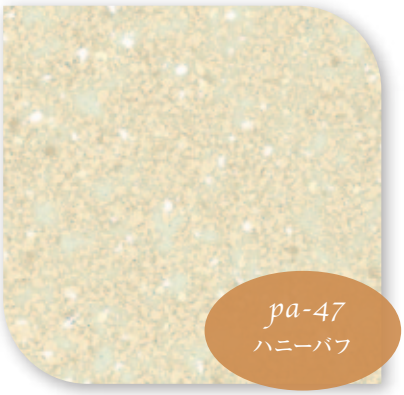
Soft

ほっと一息つける優しい空間
柔かさ漂う表情が
ふんわりとした
空気感を醸し出します

pa-03
スムースコットン

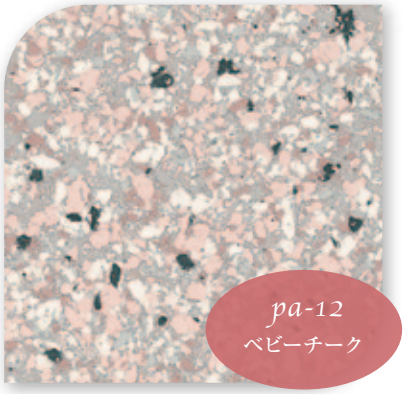
pa-42
パウダーピンク

pa-21
ナチュラルハニー

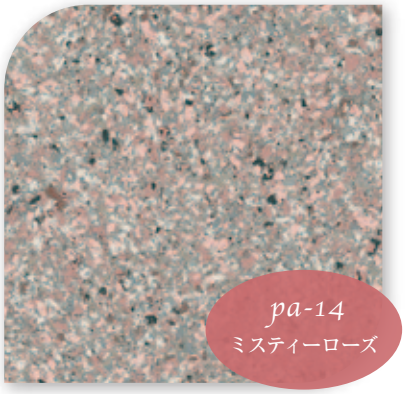

pa-47
ハニーバフ

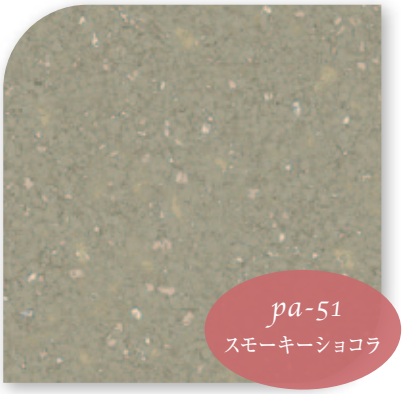
Dress

主張しすぎずシンプルすぎず
「優雅」「上品」には
かかせない条件
華やかな輝きを放ちます

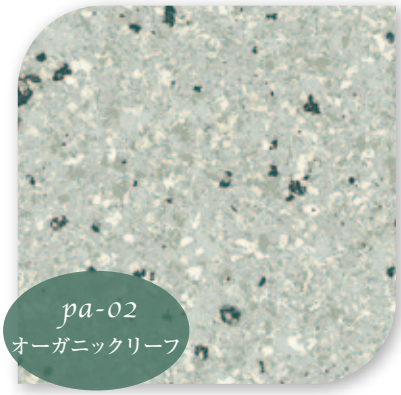

pa-12
ベビーチーク

pa-40
アッシュフラミンゴ

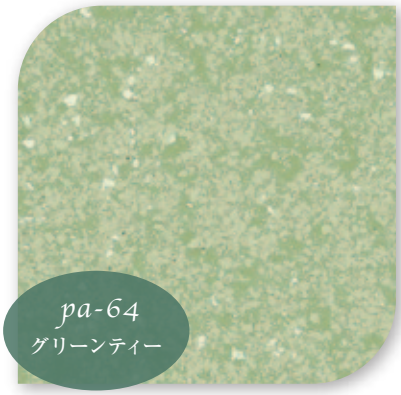

pa-14
ミスティーローズ


pa-51
スモーキーショコラ

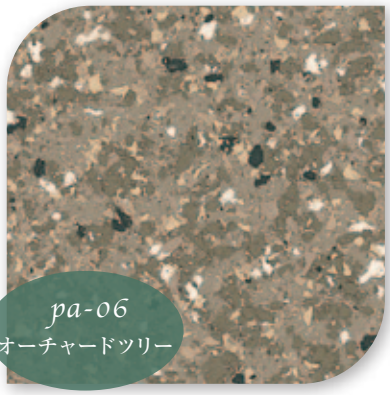
このカタログは吹付け塗装のイメージです。被塗物の形状や作業機器、作業方法により仕上がりが異なります。
実際の仕上がりについてはお施主様と試験施工などで事前にご確認ください。



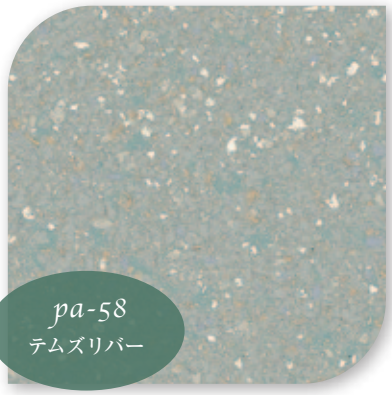
pa-02
オーガニックリーフ



pa-64
グリーンティー



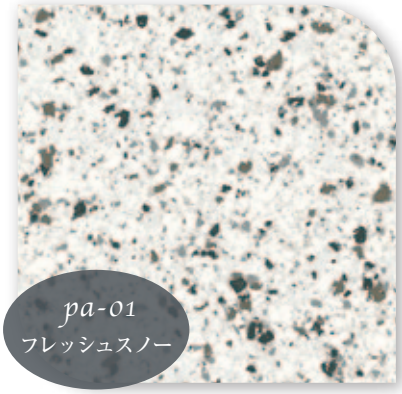
pa-06
オーチャードツリー



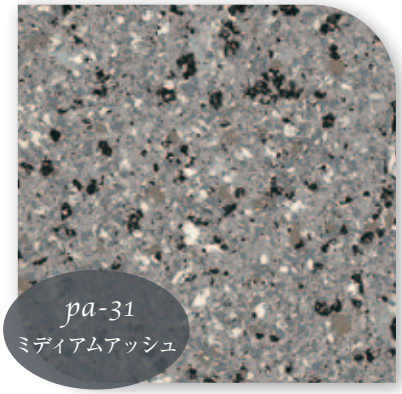
pa-58
テムズリバー

Classic

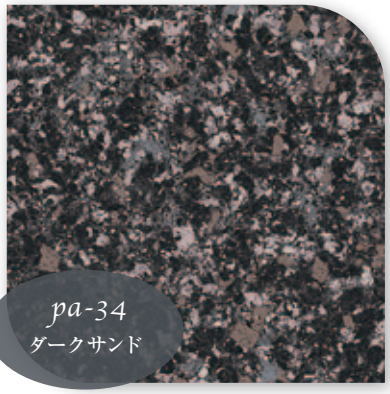
古きを温ねて新しきを知る
古典様式に馴染み
格調の高さを解き放ちます



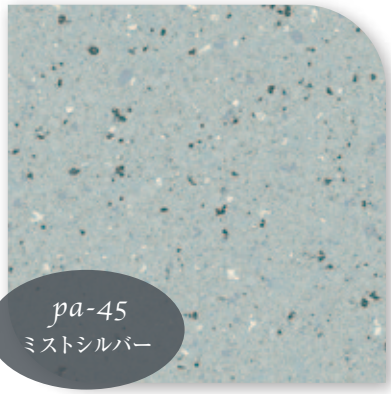
pa-01
フレッシュスノー



pa-31
ミディアムアッシュ



pa-34
ダークサンド



pa-45
ミストシルバー

Mono

素顔をありのままに映し出す
色味のない世界にだけ
存在する強さがあります

標準塗装仕様

■吹付け塗装

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。ごみ、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。 釘頭のさびは、サンドペーパー、研磨布などを用いて除去し、さび止め塗料で補修塗りする。						
下塗り	水性ペリアートUV下塗	1~2※	0.25~0.35	3時間以上	無希釈	—	はけ、ウールローラー
上塗り	水性ペリアートUV上塗(S)	1	0.50~0.70	—			万能ガン　口径5.5㎜ 吹き圧1.5kgf/㎠ (手元にて空気量微調整)

※下地が隠ぺいしない場合は2回となります。

施工方法の詳細については、別途施工要領書をご確認ください。

- 左記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
- 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
- 防火認定材料ではございませんので、防火認定が必要な場合は使用しないでください。

施工上の要点・注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)

1. 水性ペリアートUV上塗は経時により流動性が低下しますので、ご使用前には必ず流動性が発現するまで、よくかくはんしてください。 なお、かくはん棒などを使い、手でゆるやかにかくはんしてください。粒子がつぶれるおそれがありますので、電動かくはん機などは使用しないでください。
2. 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
3. 機器および道具類の使用後は、そのまま放置しないですぐ水につけ、その後必ず水洗いしてください。塗料が付着したまま放置して乾燥しますと、こびりついて取れなくなります。
4. 塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
5. 下地の状態や形状、面積、塗料温度、塗装条件などによって、見本と色調および模様の差異を生じる可能性がありますので、塗装前に試し塗りをしてください。
6. 多彩塗料ですので、ロット差による多少の色相のずれはあらかじめご了承ください。
7. 仕上がり模様は、事前に試し塗りを行い条件などを設定してから本施工に入ってください。
8. 塗装直後と乾燥後では若干色が異なる場合があります。
9. エアー圧、スプレー距離はすべて標準のものです。それぞれの設定ならびに塗料吐出量の調整は随時行ってください。
10. 窯業サイディングボードの突き合わせ部などは、動きが大きい場合があります。そのため経時でのひび割れ発生の可能性がありますので、できるだけ施工を避けてください。
11. 施工に関しましては、必ず水性ペリアートUV施工要領書をご参照ください。
12. 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
13. 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
14. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
15. 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
16. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
17. スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
18. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
20. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
21. 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
22. 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
23. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
24. 内部塗り替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨ずりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
25. 既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
26. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
27. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
28. タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行なってください。
29. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
30. 素地の乾燥は十分に行ってください。
31. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。)
32. 開缶後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
33. 塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
34. カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などものが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
35. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
36. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
37. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
38. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
39. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
40. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
41. 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
42. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
43. 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
44. クロスの上の塗装は避けてください。
45. 可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
46. 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
47. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用い　て缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
48. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
49. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
50. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項　水性ペリアートUV　　横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を入手してください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
5. 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用してください。
6. 口をすすいでください。
7. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
8. 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
9. 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
10. ばく露またはばく露の懸念が有る場合:医師の診断／手当てを受けてください。
11. 施錠して保管してください。
12. 直射日光や水濡れは厳禁です。
13. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
14. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度に暴露しないでください。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
- 内容物／容器を国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

警　告	危険有害性情報
	●有機溶剤中毒を起こす恐れがある　●発がんのおそれの疑い

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

●このカタログは再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●ⓒCopyright 2015 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

●さらに詳しい情報は、専用Webサイトへアクセス
http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html

日本ペイント　建物　検索

カタログNo.
NP-T093
AA151005T
2015年10月作成